

事業名	体験型育成事業
基本目標	②すべての子どもが明るくのびのびと成長する子育ての環境づくり
施策の方向性	3)地域で取り組む青少年の育成
主な施策	学校外の学びの場の提供
担当課	青少年育成課

1. 事業の主目的

仮想体験ではなく、科学実験や、芸術活動、自然体験等の実体験をとおして気づきや感動を体感することで、感性豊かで好奇心旺盛な青少年の育成を図ります。

2. 事業の背景または経緯

平成20年度版青少年白書において、青少年の諸問題の起因要素として、子ども時代の体験不足(自然体験、学習体験、親や大人との交流体験など)が挙げられています。仮想体験が多くなってきている子どもたちに、様々な分野における実体験が求められています。

3. 事業概要及び実績

概要

科学実験や、芸術活動、自然体験等の各種分野の中から、「わくわく・ドキドキ」を実体験できる体験活動を、平成22年度より展開しています。カテゴリー別に、各分野の専門家を講師として招き、子どもたちの「すごい！どうして?!なぜ?!」と言う感動と、探究心を大切に事業を実施します。

コース内容:
 「実験コース」(光の反射実験・氷と乳製品の实验・音の实验・分子模型を作る)
 「表現活動コース」(テーマ:コミュニケーションの体験学習)

実施時期:「実験コース」6月の日曜日 「表現コース」9月～10月の日曜日
 実施回数:「実験コース」4回 「表現コース」4回
 対象者 :「実験コース」小学校3年～中学校3年
 「表現コース」小学校1年～3年の親子

実績

【平成24年度】	【平成25年度】
◆「実験コース」 延べ参加人数 74人	◆「実験コース」 (実施予定)
6月 3日 水の万華鏡をつくろう(光の反射実験)	6月 2日 カガミが作る不思議な世界(光の反射実験)
6月10日 アイスcreamを作ろう(氷と乳製品の实验)	6月 9日 化石で大昔の地球へGO!(考古学への誘い)
6月17日 サンダードラムをつくろう(音の实验)	6月16日 ダチョウの卵(形の不思議、強さの秘密)
6月24日 ブドウ糖ってどんな形(分子模型を作ろう)	6月23日 宇宙ってどんなところ?(月齢早見盤を作ろう)
◆「表現活動コース」 延べ参加人数 64人	◆「表現活動コース」 (実施予定)
コミュニケーションって、なんだろう?	コミュニケーションは、たのしい!
10月21日 『おもしろい!』からはじめよう!	10月20日 『たのしい!』は、大切なこと!
10月21日 自己表現とコミュニケーション	10月20日 自己表現と相手の気持ち
10月28日 心と体のワクワクワーク	10月26日 心と体のワークショップ
10月28日 イメージ&アクション⇒劇作り	10月26日 イメージロールプレイ

事業名	地域スポーツ活動(校庭開放)
基本目標	③区民一人ひとりが地域や家庭の一員として役割を果たす環境づくり
施策の方向性	2)地域社会の一員としての参画の促進
主な施策	地域での多様な活動を通じた人間関係の構築
担当課	庶務課

1. 事業の主目的

子ども主体のスポーツ事業を実施し、スポーツを普及するとともに、心身の健全な育成を図ります。

2. 事業の背景または経緯

【校庭開放(遊び場開放)】

昭和29年度に、子どもたちに安全な遊び場を提供するために、小学校10校で開始、順次実施校を広げ、昭和40年度に区内全小学校で実施されるようになりました。

【少年少女スポーツ普及事業】

平成5年度に校庭開放事業を見直すためにアンケートが実施されました。その中で「スポーツ事業を計画して、実施してほしい」という意見があり、平成7年度からスポーツ事業が試験的に実施されました。その後、事業内容や回数が見直され、現在にいたります。

3. 事業概要及び実績

概要

校庭を子どもの遊び場として開放するとともに、児童が主体となるスポーツ事業を実施します。事業は各小学校PTAが中心となった「校庭開放運営委員会」に委託しています。

(1)校庭開放(遊び場開放)

日曜・祝日・学校休業日に、午前9時から午後5時まで(11月～3月は午後4時まで)の間、小学校の校庭を遊び場として開放しています。開放日は、小学校により異なります。

(2)少年少女スポーツ普及事業

子どもの健全育成を図るため、学校・地域の協力を得てスポーツレクリエーションを実施しています。

実績

(1)校庭開放(遊び場開放)

(単位:人、日、校)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
延べ利用者数	30,997	33,999	26,351	25,712
延べ開放日数	1,444	1,465	1,247	1,098
一日あたり利用人数	21.5	23.2	21.1	23.4
学校数(註1)	38(11)	38(5)	38(4)	38(3)

(註1 カッコ内は改築・耐震工事が入った学校の内数です。)

(2)少年少女スポーツ普及事業

(単位:人、回)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
延べ参加者数	13,775	15,641	11,977	12,221
延べ事業回数	218	206	192	193
一事業あたり参加人数	63.2	75.9	62.4	63.3

事業名	青少年社会貢献活動支援
基本目標	③区民一人ひとりが地域や家庭の一員として役割を果たす環境づくり
施策の方向性	2) 地域社会の一員としての参画の促進
主な施策	地域での多様な活動を通じた人間関係の構築
担当課	青少年育成課、子育て支援課

1. 事業の主目的

青少年自身が周囲に守られ支えられてきたこれまでの生活を振り返り、今後は社会の中で自分の役割を見つけ行動するきっかけづくりを支援していきます。

2. 事業の背景または経緯

家庭や地域社会に守られ豊かな環境で育った世代が、自分たちに何ができるか、地域における役割・活動は何かを考えて行動し、自立へ向けて育成していく必要があります。

3. 事業概要及び実績

概要

(1) 青少年地域貢献活動支援事業(青少年育成課)

家庭や地域の中で、何ができるか。考える場や行動する機会を提供します。

① 「役立ち隊」育成事業(一般公募)

平成23年度ジュニアリーダー教室の中で実施した社会貢献活動を、対象範囲を一般青少年で関心のある者にも広げ、より多くの青少年が貢献活動を始める機会を作っていきます。

貢献活動についての知識を深める講座を開き、その後それぞれのやりたい活動について個別の相談を受け、貢献活動のコーディネートを行ないます。活動については、グループで自主的に取り組みます。

② ジュニアリーダーボランティア派遣(中高生コース対象)

各地区委員会で行なう地区委員会行事の中高生ボランティアを区がジュニアリーダー教室中高生コース(中2以上)で募集します。(レク指導や、グループリーダーとしての力を発揮する機会の提供。)応募者を地区委員会行事にボランティアとして派遣します。(応募者多数の場合は、抽選をおこないます。)

(2) スポーツECOグループの育成(子育て支援課)

スポーツGOMI拾い大会を通じて青少年の社会貢献活動への動機づけを行います。

実績

【平成23年度】

(1) 青少年地域貢献活動支援事業(青少年育成課)

ジュニアリーダー教室中高生コースで実施

11月「保育支援グループ」保育園で活動(7名)

12月「イベント支援グループ」児童センターで活動(5名)

3月「東北支援グループ」他上記グループで総合活動、イオン・オーバルガーデンイベント協力(24名)

【平成24年度】

(1) 青少年地域貢献活動支援事業(青少年育成課)

① 一般公募登録者を「役立ち隊」として育成(9月現在:登録者数36名)

活動学習会・企画会議11回実施(6月～3月)、8月東北支援チャリティーイベント参加

2月・3月すまいるスクールにてレクリエーション交流活動開催 活動延べ参加者78名(14回活動)

② 地区委員会事業へのジュニアリーダーのボランティア派遣(10月:品川第1地区へ4名派遣)

(2) スポーツECOグループの育成(子育て支援課)

各児童センターを中心に登録の受付や啓発活動を実施。

* 平成24年5月20日(日)スポーツGOMI拾い大会実施

サンピア商店街等大井町周辺の商店街とNPOまちづくり大井とで連携協力して行った。

参加チーム数:97チーム(うち児童センターは17チーム)

場所:大井町駅中央通り周辺

事業名	親育ちサポート事業
基本目標	③区民一人ひとりが地域や家庭の一員として役割を果たす環境づくり
施策の方向性	3)子どもと共に歩む親の育ちの促進
主な施策	子育てに主体的に関わる機会の提供
担当課	子育て支援課、保育課

1. 事業の主目的

親としての不安や迷い、悩みを受け止め、専門職による必要な情報提供、親同士の交流を図り子育ての精神的負担を軽減します。また母親・父親・次世代の親を対象としてアプローチを行い総合的な親育ちを支援します。

2. 事業の背景または経緯

核家族化、地域関係の希薄化の中、親として育ちきれていない保護者の存在が指摘されています。親自身が子育ての術を知らず、家族や地域の援助も十分に得られないまま途方にくれるケースが後をたちません。不安や悩みを受け止め、専門職による親育ち支援の必要性が問われています。

3. 事業概要及び実績

概要

- (1)赤ちゃんとのおふれあい事業の充実
乳幼児親子と、小中高生および大学の交流を長期にわたって行い、育児体験する機会を提供します。
- (2)親育ちワークショップの充実
連続講座として、区内13ブロックで開催します。
- (3)父親の子育て参加促進講座の充実
「父親講座」「お父さんと遊ぼう！」等、父親の子育て参加や交流を図る講座を開催します。
- (4)一日保育士体験
保育園の保護者が、自分の子どものクラスで保育士として一日過ごし、子どもの成長を実感するとともに、保育園での「生活、遊び、学び」を体験します。

実績

◆延べ参加者数 (単位:人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
(1)赤ちゃんとのおふれあい事業			
参加生徒数	659	963	1,418
協力親子数	658	724	1,141
(2)親育ちワークショップ	1,753	1,715	1,686
ボランティア数	1,397	1,302	1,177
(3)父親子育て参加促進講座	2,375	3,543	5,584
(うち父親の参加者数)	811	923	1,237
(4)一日保育士体験	654	927	1,071

■ 後期行動計画 施策体系・重点事業(平成25年度)

● 後期計画で重点事業とするもの(⇒主要事業カタログの作成)

赤字・・・平成23年度第2次実施計画で変更・追加となった事業

青字・・・平成25年度の新規事業

基本目標①:だれもが安心して生み育てることができる子育て環境づくり

施策の方向性	主な施策	具体的な取り組み		実施課
		全体計画	計画内容	
1) 健康で安心感のある子育ての環境づくり	母子の健康確保の充実	● 健やか親子支援事業の充実 ● 休日・小児夜間診療の充実 ○ すくすく赤ちゃん訪問事業の推進	妊娠期・乳児期支援の充実 休日・小児夜間診療の充実 すくすく赤ちゃん訪問事業の充実	保健センター、保育課 健康課 保健センター、子育て支援課
	安心して相談できる機会の拡充	● すくすく赤ちゃん訪問事業の推進(再掲) ○ 健やか親子支援事業の充実(再掲)	すくすく赤ちゃん訪問事業の充実 妊娠期・乳児期支援の充実	保健センター、子育て支援課 保健センター、保育課
	出産・子育て期のライフプラン作成支援	● 子育て相談の充実	子育てプランの作成支援	保育課
	子育てに関わる経済的支援の拡充	● 各種助成事業の円滑な運用	子どもすこやか医療費助成事業の推進 私立幼稚園入園料・保育料助成、認証保育所保育料助成	青少年育成課 保育課
	子育てに配慮したまちづくりの推進	○ すべての人にやさしいまちづくりの推進 ○ 道路バリアフリー事業の推進	駅のバリアフリー化 側溝の段差解消、歩道の平坦化	都市計画課 道路公園課
2) 在宅子育てへの支援充実	子育てを支援する交流拠点の整備	○ 地域子育て支援センター等の拡充	キッズ館の運営・充実、地域交流室の充実 子育て交流サロンの開設	子育て支援課、保育課
	子育て支援および情報提供機能の充実	● チャイルドステーション事業の充実	保育園、幼稚園、児童センターでの事業の充実、 商店街等への授乳スペース等設置拡大	子育て支援課、保育課
	在宅支援型保育事業の充実	● 生活支援型一時保育の充実	オアシスルームの運営	保育課、子育て支援課
	地域の子育て人材の育成と活用	○ 子育て支援ボランティア等の育成 ● ファミリー・サポート事業の推進 ○ 地域における子育て支援事業の充実	保育サポーター養成講座の開催、地域ボランティア育成講座の充実 だっこボランティア養成講座の充実、悠々ボランティアの育成 ファミリー・サポートセンターの運営、提供会員の養成・拡充 空き店舗を活用した子育て交流ルームの運営	子育て支援課、保育課 子育て支援課 保育課
3) 子育てと就労の両立支援	保育・教育環境の整備	○ 幼児教育の充実のための幼保一体施設等の施設整備 ● 定員拡大のための施設整備(待機児童解消) ○ すまいるスクールの充実	幼保一体施設の整備 既存施設を活用した定員の拡大 協働の推進による、すまいるスクールの充実	保育課 保育課 子育て支援課
	多様な乳幼児保育の提供	● 短時間就労対応型保育事業の充実	開設	保育課
		○ 認証保育所の支援	施設運営の支援	保育課
		● 特別保育事業	延長・夜間、休日、病児・病後児保育等の実施	保育課
		● 幼稚園の預かり保育の拡充		保育課
		○ 私立認可保育園の開設支援 ○ 保育ママ事業開設支援	新規施設開設の支援 在宅型新規開設の支援、事業所型新規開設の支援	保育課 保育課
企業・事業所の子育て支援の充実促進	● 事業所内育児施設の整備支援 ○ 地域産業の人材確保・育成支援	施設設置に要する設備資金助成、ベビーシッター経費の助成 ワーク・ライフ・バランス推進企業支援資金のあっ旋、 セミナーの開催・コンサルタント費用の助成	ものづくり・経営支援課 ものづくり・経営支援課	
円滑な復職の支援	○ 子育て相談の充実(再掲)	保育園の入園予約	保育課	
4) 特別な支援や保護を要する子どもと家庭への地域ぐるみの対応	特別支援の対象となる子どもの育ちの支援	● 子ども発達支援事業等の整備 ○ 特別支援学級における教育活動の充実	早期発見、早期支援による療育事業の充実、発達・発育に関する相談体制 や拠点の整備、発達障害児を対象とした思春期支援事業の実施、障害者特 性に合わせた療育事業の充実 特別支援学級における教育活動の充実	障害者福祉課、保健センター 指導課
	保護を要する児童への迅速な対応	○ 子ども家庭支援センターの拡充	子ども家庭支援センターの充実	子育て支援課
	地域による見守りの強化	● 品川区要保護児童対策地域協議会の運営充実	協議会の運営充実、子ども虐待防止対応マニュアルの改訂	子育て支援課
	ひとり親家庭の就業支援の強化	○ 就労支援の強化	ひとり親家庭自立支援助成事業の推進、母子自立支援プログラム策定事業 の推進、ファミリー・サポート事業の優先利用	子育て支援課

基本目標②:すべての子どもが明るくのびのびと成長する子育ての環境づくり

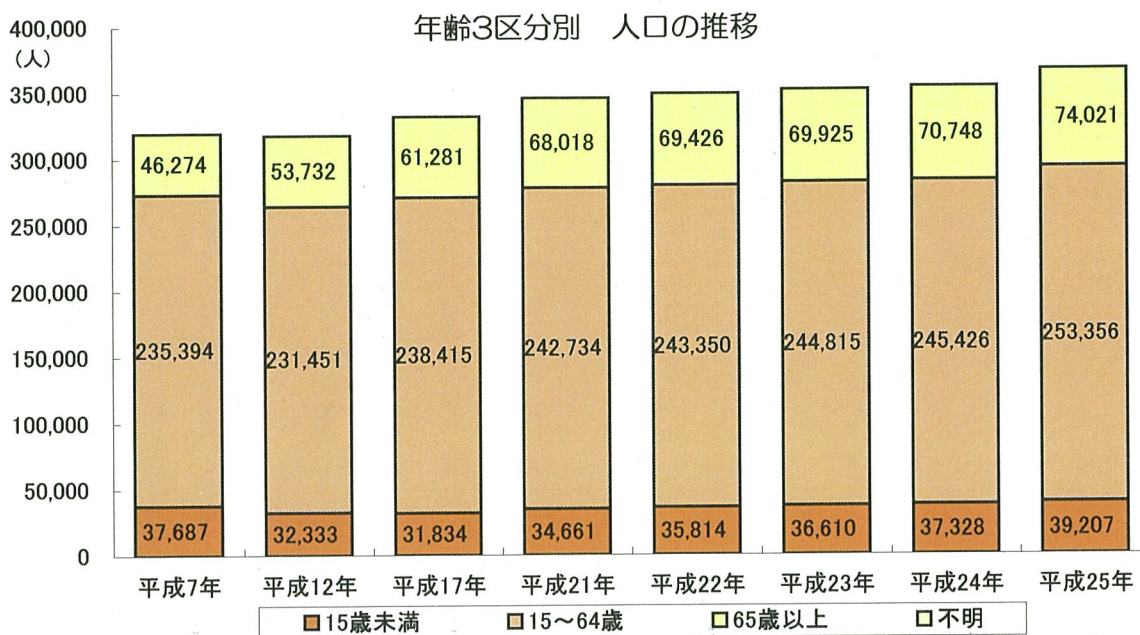
施策の方向性	主な施策	具体的な取り組み		実施課	
		全体計画	計画内容		
1) 生きる力を育む幼児からの教育の推進	保育・教育施設における幼児教育の充実と体系化	● 就学前乳幼児教育の推進	幼稚園・保育園の教育保育内容の向上、保幼小交流事業の充実 幼保一体施設の整備(再掲)	保育課	
		○ 小学校施設を活用した保育		保育課、庶務課	
		○ 魅力ある公立学校教育の推進(特色ある学校教育の実践)	● 小中一貫教育の推進	市民科教科書・各教科副教科書・教材の充実、全小学校英語科の充実、ステップアップ学習・習熟度別学習の充実、保幼小連携の充実	指導課
		○ 特色ある学校教育の実践	各校独自の特色ある教育活動の実施	指導課	
	保育・教育に携わる人材の資質向上	○ 区固有教員の採用	区固有教員の採用	指導課	
		○ 就学前乳幼児教育の推進(再掲)	保育者の教育保育力の向上	保育課	
	2) 学校等子育て環境の整備	教育施設の計画的な改修・改築	○ 小・中学校の改築による安全・安心な施設づくり	小中一貫校の建設、耐震化・老朽化に伴う改修・改築	庶務課、学務課、指導課
		地域との連携による育成事業の充実	● すまいるスクールの充実(再掲)	協働の推進による、すまいるスクールの充実	子育て支援課
	3) 地域で取り組む青少年の育成	社会性を育む機会の提供	○ 地域に学ぶ学習内容の充実	地域との連携強化、公開授業の充実、地域に学ぶ授業の強化	指導課
子どもを守る地域体制づくり		● 子どもを見守る地域ネットワークの拡充	近隣セキュリティシステムの運営、83運動の推進 こども110ばんの家の推進	地域活動課、庶務課	
地域に根ざした育成の取り組み促進		● ティーンズプラザの充実	事業内容の充実	子育て支援課	
		○ 地域での青少年育成事業の充実	青少年問題協議会・青少年対策地区委員会・青少年委員会の活動支援の充実	地域活動課、青少年育成課	
学校外の学びの場の提供		● 体験活動の支援・機会の提供	体験型育成事業や親子体験事業等の充実	青少年育成課	
		○ 子ども読書活動の推進	ブックスタート事業の推進、読み聞かせ地域ボランティアの育成・活用、しながわ親子読書の日・子ども読書の日事業の推進、児童スペースの環境整備	品川図書館	
思春期保健対策の充実	○ 思春期のこころとからだの健康づくりの充実	思春期のこころの相談の充実、思春期教室の充実	保健センター		

基本目標③:区民一人ひとりが地域や家庭の一員として役割を果たす環境づくり

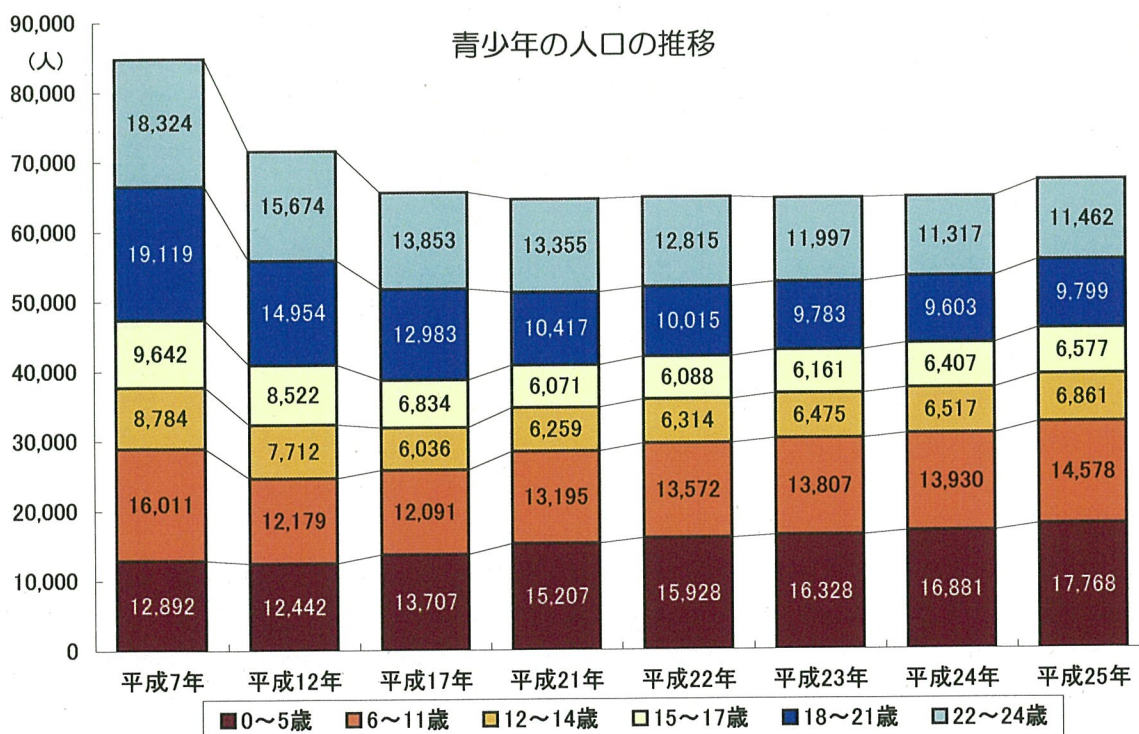
施策の方向性	主な施策	具体的な取り組み		実施課
		全体計画	計画内容	
1) 自立した生活や就労に向けた支援	キャリアアップ、職業訓練や職業体験の機会の提供	○ ものづくり次世代人材育成支援	都立産業技術高等専門学校・区内企業と連携したものづくり教室の推進、産業技術大学院大学と連携したセミナーの推進、都立産業技術高等専門学校を活用した若手技術者育成事業の推進	ものづくり・経営支援課
	すべての若者の生活能力向上の推進	○ 青少年の就労に向けた支援	就労関係機関との連携、相談業務の実施(就業センターの開設) 若者就職活動サポート事業	ものづくり・経営支援課
2) 地域社会の一員としての参画の促進	地域での多様な活動を通じた人間関係の構築	● 地域スポーツ活動の充実	少年少女スポーツ活動の推進、スポ・レク運営組織の充実、地域スポーツクラブの新設	青少年育成課、庶務課、文化スポーツ振興課
		○ 文化学習施設の利用促進	五反田文化センター・図書館の改築、区民活動交流施設の開設	文化スポーツ振興課
		● 青少年の社会貢献活動支援	活動の充実	子育て支援課、青少年育成課
	仕事と生活の調和の実現	○ ワークライフバランスアクションプランの推進	啓発紙の作成、啓発講座の実施	人権啓発課ほか各事業の実施主体
3) 子どもと共に歩む親の育ちの促進	子育てに主体的に関わる機会の提供	● 親育ちサポート事業の充実	中高大学生子育て体験ワークショップの充実、次世代育成大学出張セミナー、親育ちワークショップの充実、父親の子育て参加促進講座の充実、一日保育士体験	子育て支援課
	食育の推進	○ 食育を通じた健康づくりの推進	各種教室の充実、区民への啓発	保健センター・子育て支援課
○ 「家族いっしょに朝ごはん」運動の推進		保育園保護者の給食体験、食育保護者会、保育園・幼稚園PTAとの連携事業の充実	保育課	

【参考】人口と出生の現状

①人口

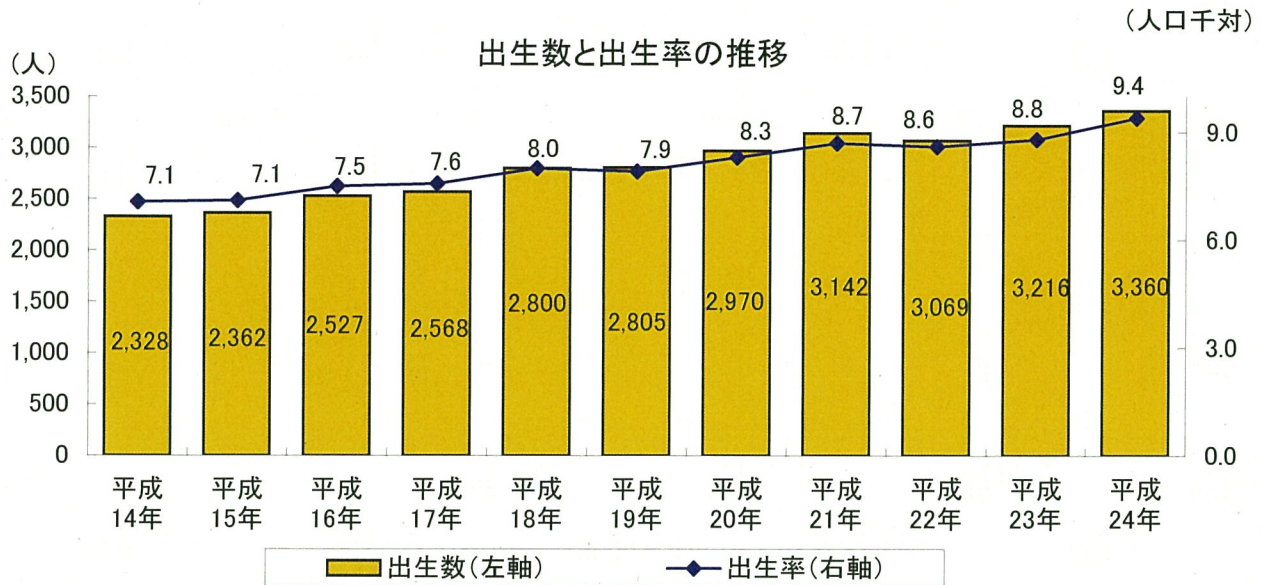


(資料: 住民基本台帳各年1月1日現在、住民基本台帳法の一部改正(平成24年7月9日施行)に伴い平成25年は外国人が含まれている)

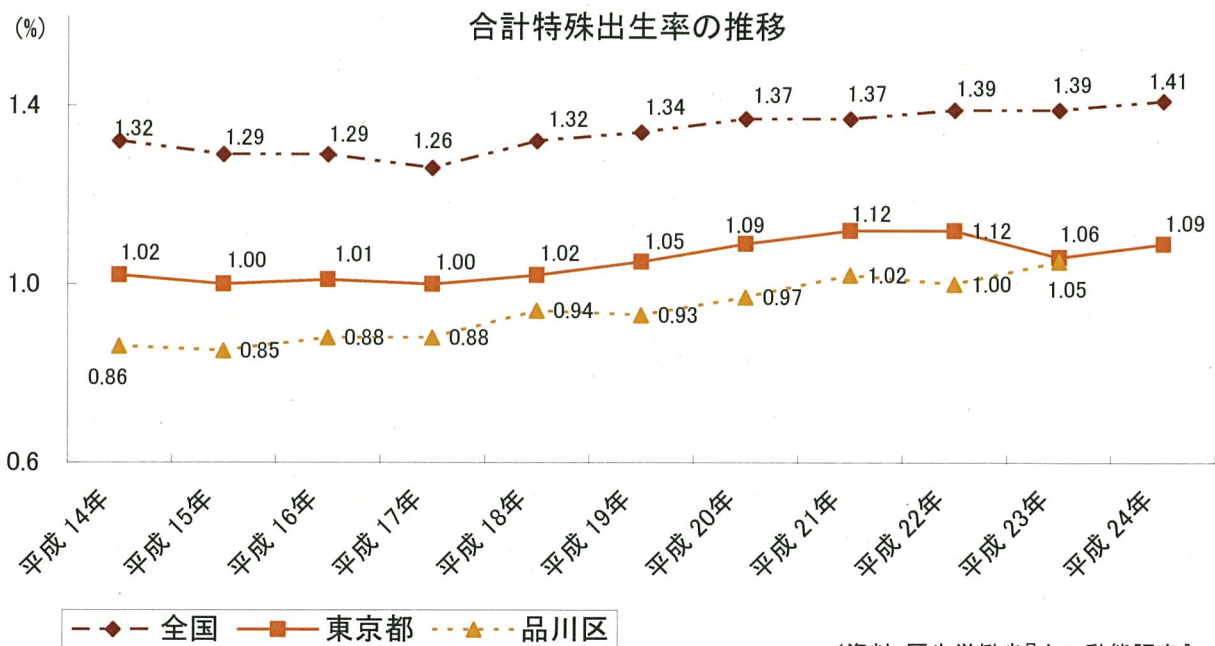


(資料: 住民基本台帳各年1月1日現在、平成25年は外国人を含む)

②出生数・出生率



資料:東京都福祉保健局『人口動態統計』
品川区事務事業概要(24年は速報値)



(資料:厚生労働省『人口動態調査』、
東京都福祉保健局『人口動態統計』、
平成24年は速報値)